

# 市の行政運営等に関する職員の現状認識として把握した事項の速報

## 1 調査の目的

「最少の経費で最大の効果を上げる行政運営の実現」のためには、行政運営システムのレベルアップと仕事に対する職員の前向きな意欲の高まりが重要なポイントとなることから、それらに対する職員の現状認識等を把握するため、本調査を実施した。

## 2 調査の方法

### (1)調査対象

部長級以下のすべての正規職員

### (2)調査期間

平成 19 年 10 月 5 日(金) ~ 10 月 12 日(金)

### (3)調査方法

職員がイントラネット上の調査票へ回答を入力する方法による

### (4)調査項目

- ・業務執行の効率性に関する調査（全職員対象）
- ・事務事業や組織目標の進捗管理システムに関する調査（全職員対象）
- ・仕事に対する意欲等の状況に関する調査（全職員対象）
- ・組織の管理状況に関する調査（管理職対象）
- ・自由意見（全職員対象）

## 3 回答率及び回答者の内訳

### 回答数及び回答率

調査対象となる職員の数	回答者数	回答率
2,233 人	1,099 人	49.21%

### 管理職と一般職の内訳

	回答数	比率
管理職	222	20.20%
一般職員	877	79.80%

### 本庁職員と総合事務所職員の内訳

	回答数	比率
本庁	930	84.62%
総合事務所	169	15.38%

## 4 回答結果（速報）

### (1)業務執行の効率性についての調査結果

本設問では、現在・昨年度の同時期・平成16年度の同時期の各時点において業務執行が効率的に行われていたかどうかを調査した。

効率性 \ 時点	現在	昨年度の同時期	平成16年度の同時期
相当高い	30	35	57
どちらかと言えば高い	586	599	527
どちらかと言えば低い	431	359	270
相当低い	34	32	28
無回答	18	74	217

上記設問のうち「現在」の評価についてはその理由も調査した。結果は以下のとおり。

「相当高い」「どちらかと言えば高い」を選択した理由（複数回答可）

理由の選択肢	相当高い		どちらかと言えば高い	
	回答数	割合	回答数	割合
業務執行方法の改善があったから	7	17.50%	172	27.09%
事務事業の量が減ったから	1	2.50%	42	6.61%
職員数が増えたから	3	7.50%	29	4.57%
目標を設定して定期的に進捗管理しているから	10	25.00%	206	32.44%
管理職の組織管理が適切だから	4	10.00%	70	11.02%
課と総合事務所間の業務分担等が円滑だから	2	5.00%	71	11.18%
その他	13	32.50%	45	7.09%

「どちらかと言えば低い」「相当低い」を選択した理由（複数回答可）

理由の選択肢	どちらかと言えば低い		相当低い	
	回答数	割合	回答数	割合
業務執行方法の改善がなかったから	106	14.36%	14	16.67%
事務事業の量が増えたから	219	29.68%	23	27.38%
職員数が減ったから	144	19.51%	14	16.67%
目標を設定して定期的に進捗管理していないから	42	5.69%	6	7.14%
管理職の組織管理が適切でないから	71	9.62%	13	15.48%
課と総合事務所間の業務分担等が円滑でないから	110	14.91%	9	10.71%
その他	46	6.23%	5	5.95%

### (2)進捗管理システムに関する調査結果

昨年度から実施している事務事業等の進捗管理システムによる業務執行の変化の有無について、以下の質問を行った。

システムの導入により効率性は高まったと思うか

	回答数	比率
思う	395	35.94%
思わない	668	60.78%
無回答	36	3.28%

目標にチャレンジする姿勢が強くなったと思うか

	回答数	比率
思う	393	35.76%
思わない	671	61.06%
無回答	35	3.18%

目標を設定することに対する意識は高まったか

	回答数	比率
目標の設定は大切なことと思うようになった	893	81.26%
目標の設定は大切なことだと思わない	154	14.01%
無回答	52	4.73%

目標を設定することのノウハウは蓄積されているか

	回答数	比率
蓄積された	336	30.57%
蓄積していない	696	63.33%
無回答	67	6.10%

システムは業務執行において定着しているか

	回答数	比率
定着したと感じる	330	30.03%
定着したと感じない	731	66.51%
無回答	38	3.46%